

R6 (2024) 年度 児童館事業年間活動報告書 (山階) 児童館

活動名	実施回数	参加人数											内容	成果と課題	
		乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生	大人	ボランティア			合計			
			自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中高生	大学生	大人				
ecoクラブ	28				105		19						124	追肥や水やり作業で春はチューリップを育て、夏はゴーヤのグリーンカーテン作りをする。1年を通してペットボトルキャップの仕分け・業者に回収を依頼をする。	土に触れ、植物を育てて収穫していくことに楽しさを感じる機会となる。 初めてのeco工作は好評で、継続していきたい。 ペットボトルキャップを持って来てくれる家庭も増えて広報の成果があった。
中高生企画	12							10					10	夕方5:15～中高生と何をやりたいか相談し、ミサンガや工作、カードゲームなどを実施。	利用者は固定化されていたが、職員と過ごせることを楽しみにしてくれていた。
5時から卓球	112						334	10					344	夕方5:00頃～小学生高学年が集まり卓球を楽しむ。	認知度も上がり、卓球を行う目的で来館する子ども増えてきた。卓球を通して交流の場になっている。 幼児親子の来館によって部屋がわけることになるため職員の体制など難しい時がある。
将棋クラブ	12			40	11	33	14		8				113	駒の並べ方や動き方を覚えながら、友だちと対戦する。	将棋に興味・関心をもつ子が多く、人気のあるクラブ。メンバーを交代しながら対戦して交流する機会になった。 初心者向けにどうぶつしょうぎを購入し、初心者にも動きを覚えてもらえる工夫をおこなった。 山科中央老人福祉センターの将棋サークルの方が定期的にボランティアとして来てくださり、小学生と地域の方の交流につながった。
きりえクラブ	12			52	17	32	10						111	2年生以上対象。デザインカッターを使用して、カッターの使い方を身につけたり、級によって難易度の違う絵を切り抜いて、作品を完成させる。	施設外に掲示をすることで多くの人に見てもらえる機会になった。次年度はまつりの作品展示や巨大きりえなど挑戦したい。 登録人数が増え、初心者の子どもが多かったため、きりえのルールやカッターの持ち方などをより丁寧に教える必要があると感じた。
モシカメクラブ	12	1	18	15	18	12			2				66	初めての人は、けん玉の基本から覚えてもらい、曲に合わせてモシカメの練習をする。モシカメの記録会や3月に発表会を行った。	メンバーの選んだ好きな曲をみんなで練習し、楽しみながらリズムの取り方などを覚えた。モシカメ発表会の選曲など子どもたちと相談して決めた。 月1度のクラブのため練習量が足りないため、検討が必要。
一輪車であそぼう	12			17	52	5	32						108	遊戯室で乗り方の練習を通して一輪車遊びをする。	事前に約束事を決め掲示しておくことで、練習中の子どもも上手く乗りこなす子どもも互いに安全に遊ぶことができた。 初めて乗る子どもが多い場合のサポートが課題。
高学年卓球クラブ	22					99	8						107	今年度からの登録制クラブとして実施。打ち合いやミニゲーム、トーナメントなどを通して卓球を楽しむ。	卓球あそびを楽しむクラブなのか、卓球の上達を目指すクラブなのか方向性をしっかり決める必要があった。 毎回同じような内容だったため、子どもたちと相談して決めていくようにしていく。

子ども育成機能

お楽しみ企画実行委員会	11		5	12	1	29						1	48	子どもたちが、児童館でやりたいことを話し合っ て何をするか決めて準備をする。	やりたいことを積極的に持ち寄って話し合えてい た。平日の放課後に集まっておこなうため、日程をお たよりの申込時に記載していたが、メンバーがそろわ ないことがあった。実行委員の情報共有の方法に工夫 が必要。	
春のお楽しみ企画	1		18	2	6							1	27	実行委員を募集し、実行委員会で決めた内容 で役割分担や準備、当日の進行をする。	「シャカシャカキーホルダー作り」を行う。実行委 員さんのやる気がとてもあり、盛り上げたり、声をか け合っ て協力し合ったりする場面が多かった。参加し た子どもたちから好評だった。職員が関わらなくて も実行委員で進められていた。 欠席した実行委員への個別対応が必要だった。	
七夕飾り作り	5		6	118									130	自由参加で笹飾りや短冊を作る。願い事を書 いたり、折り紙などで飾りを作り、大きな笹 に飾るお手伝いもできる。	山科区社会福祉協議会を通して、地域の方から笹を いただく。5日間実施する。たくさん の飾りを作って玄 關前の大きな笹に飾り付けると、来館された乳幼児親 子やお迎えの保護者の方にも見てもらうことができ た。 遊びスペースの確保も考え、1日2つまで制作でき ると制限をして、子どもたちが順番待ちをする時間を減 らす工夫をした。	
ミスターマツサンのマ ジックショー	1	2	4	11	4	4							2	28	観客の前でマジックを数種類見せてくださ る。	初めて見るマジックに驚いて見入っていた。観客参 加型のマジックもあり、とても喜んで いた。 打ち合わせの日程や時間帯がなかなか合わなかつ た。
将棋de交流	1		3	1	4	2							3	13	法人内施設の老人福祉センター利用者を児童 館に招待して将棋クラブメンバーと申込をし た参加児童とで対局交流を行う。	将棋を長年親しまれた方々との対局だったので、子 どもたちは刺激を受け、交代で楽しんで いた。 決着をつけるのに時間がかかっている対局もあつ た。今後も定期的に行っていきたい。
夏のお楽しみ企画	1		3	6	6	1							16	実行委員を募集し、実行委員会で決めた内容 で役割分担や準備、当日の進行をする。	「わくわくドキドキゲーム」を行う。実行委員は、 万全の準備をしていたのでそれぞれの役割を果たすこ う ができた。 遊びの企画は参加者が集まりにくいのが課題。	
まつり子どもスタッフ会 議	6		26	22	9	15							72	みこしの飾り付けやあそびコーナーを相談し て準備を行う。また、当日の役割を実行す る。	どんな飾りつけやあそびコーナーにするかを相談し 決める。当日は、みこしを担いで地域の方や保護者の 方々と地域をまわったり、あそびコーナーの運営を行 い、地域交流の機会となった。	
ハロウィンパレード	1		8	8	1	1							3	21	申込制。当日は地域の商店街や山科青少年活 動センター、山科区社協など数か所をまわり お菓子をもらう。	地域の110番の場所を覚えられることもあり、続け て いきたい行事である。当日は、仮装をしての参加が多 く、親子一緒に楽しまれている様子がある。 時間の調整が必要なこともあり、今年度は、途中で 児童館に戻り、館内で水分補給と休憩を行った。

	干支の貼り絵作り	6		14	43	3	19						79	地域の民生委員の方や小学校などお世話になっている地域の方々へ気持ちを込めて作る。自分用も作ることができる。	10回目となる行事で、毎年楽しみにしてくださっている地域の方もおられる。子どもたちは意図を理解し作ってくれている。山科青少年活動センターの「べる活動」でパーツの作成を依頼し、中学生も間接的ではあるが参加する形が作れた。
	クリスマス工作	1		16	4		3						23	申込制。クリスマスを感じられる遊びなどで楽しむ。	「きらきらクリスマスカードづくり」を行う。工作は簡単だが見栄えのするものだったため、好評だった。
	お正月遊び	1		4	10	4	5						23	季節を感じられる行事として、羽根つきやジャンボすごろく、百人一首などで遊ぶ。	はねつき、ジャンボすごろく、福笑い、五色百人一首などを2日間にわけて行った。はねつきやふくわらいをするのが、初めての子もいて季節を感じられる時間になった。
	冬のお楽しみ企画	1		27	3	8	1						39	子どもたちが決めた内容で役割分担や進行をする。	「きらきらボトル作り」を企画し、行う。お楽しみ企画スタッフが進行し、各グループでの補佐もおこなうなど、子どもたちの活躍の場となった。また参加者からの声は、好評だった。
	ワークショップへ行こう	1			7								7	山科区社会福祉協議会主催で、地域の方がカードゲームや紙芝居の読み聞かせなどをしてくださり、交流する。	地域の方との交流の機会となった。また様々な遊びで交流ができ、児童館での遊びのヒントをもらうことができた。
	合 計	259	3	261	447	567	181	20	16	0	0	14	1509		
推 進 活 動															
	合 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	子ども育成機能 合 計	259	3	261	447	567	181	20	16	0	0	14	1509		

*注 基本活動は、指針に基づき(2)遊びの教室活動(3)行事活動(4)クラブ活動(5)地域間交流促進活動(6)障害のある児童の居場所づくりと活動への参加促進(7)思春期児童の活動支援に分類して記入すること。
 推進活動は、指針に基づき(9)地域を知る活動(10)移動児童館活動に分類して記入すること。
 指定活動は、指定児童館のみ別途報告すること。

R6 (2024) 年度 児童館事業年間活動報告書 (山階) 児童館

活動名	実施回数	参 加 人 数											合計	内 容	成 果 と 課 題
		乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生	大人	ボランティア						
			自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中学生	大学生	大人				
夕方広場	51	76	3					60					139	乳幼児親子に向けた17:00からの遊び場所の提供。	児童館近辺の親子利用が多かった。寒い時期は利用が減った。遊びたいおもちゃが決まっているように楽しみに来館されていた。保護者からの相談やご家庭の様子を聞くこともでき大切な時間となっていた。中学生の利用がある時は、遊ぶスペースなどに配慮し職員配置も連携を取って行った。おもちゃの消毒や片付け、次の日の活動準備の工夫が必要。
くまさんクラブ	39	233						216				9	458	1年間登録制の幼児クラブ。お家ではできない遊びなどを中心に取り組みを考え、活動の中で親子の絆を深め、親同士子ども同士の交流や仲間作りを支援する。	1年を通してダンスやお返事など繰り返しが身についていた。月年齢の差を考慮して活動内容や声かけなどに気を付けた。途中入会、出席後の復帰などで補助を職員間で連携して対応した。植物を育てる活動は、気候などの影響もあり開花の時期が遅かった。今年度は、山科区の認知症啓発活動のテーマカラーになっている花も植えた。保護者同士の交流できる場がもっとあればよかった。登録者が増える工夫が必要。
おもちゃのチャチャチャ	37	174						175				1	350	遊戯室や広場で自由におもちゃで遊ぶ。最後に体操と名前を呼んでカードを返す。	好きなおもちゃで遊べたり、保護者同士のコミュニティにもなっている。参加者が少ないので広報活動や内容の工夫が必要と感じた。
ちびくまちゃん	37	210						220				9	439	乳児親子対象、自由あそびの合間に取組を行う。毎月体重測定が出来る日を設定。また季節の取組や読み聞かせも行う。	保護者同士のコミュニティになっている。手形取りや寝相アートなどの取り組みが好評。今年度、利用者からの意見も参考にははぐくみ室へ依頼をする。保育士、保健師の方から「冬の過ごし方と感染症対策」子育て講座を行った。悩みも多い時期なので年1回なのが残念だと感じた。体重と身長計測を目的で利用される親御さんもおられた。毎月取組があるのはニーズに合っているようだった。
赤ちゃん訪問	2	2						2					4	民生委員さんたちとお家を訪問し、児童館の紹介もさせてもらう。	同行させていただき、訪問先の保護者へ児童館を知ってもらう機会になった。
子育てほっと広場	47	80	2	1				75					158	取組のない日に設定し、好きなおもちゃで遊べるようにした。	月ごとに広報してお知らせする。遊戯室でおもちゃを出して遊んだり、室内で動いて遊ぶなどゆったりと過ごせる取組。設定があると「させなきゃ」と保護者が気負ってしまうこともあるようで、自由に遊べることを喜ばれた。保護者同士で情報交換や交流をされる場面もあった。
ヨガ教室	2	2						5					7	子育て中の方に向けたヨガ教室。託児も定員を設けて行う。申込制。	今年度は年2回実施する。回数が少なくなったことへの残念な声もあった。子育て中の大人向けのヨガで託児があるため喜ばれている。内容や広報など、さらに工夫が必要に感じた。今年度は、2回目の開催は中止。
アタッチメント・ベビーマッサージ	11	16						16					32	ベビーオイルを使って、ベビーマッサージをする。また講師の方よりアタッチメントのお話を開ける。	ごろんと寝ている体制でマッサージなどを行うので、動いてしまう子どもには職員が付き添った。年度途中で講師の引き継ぎがあった。ベビーマッサージの他に寝相アートを用意して下さっていたのが好評だった。
親子リトミック	2	11	1					12					24	リトミック教室・音楽教室の講師によるリトミック教室。親子でリズム遊びや音楽遊びを楽しむ。	今年度は年2回実施する。回数が少なくなったことへの残念な声もあった。広報に力を入れ2回とも開催できた。一緒に職員が入り、今年度は絵本の読み聞かせを依頼された。当日読む絵本は事前に確認して練習をしておく必要があった。今後も講師と協力し、実施していきたい。
缶バッジ作り	1	8						8					16	写真を持参したり、色塗りや絵を描いて仕上げる。親子一緒に作る。	毎年、参加があり喜ばれている。ニーズのある取組なので、早めの広報を行っていききたい。
人形劇サークル「ムクムクさん公演会」	1	15						15					30	無料。申し込み制。当日はムクムクさんの公演を楽しむ。	人気のある企画。観劇や歌・手遊びなどを親子で一緒に楽しめる公演となっている。今年度で解散されるということで、次年度どういった活動を実施するか検討が必要。
絵本の楽しみ方	1	6						7					13	無料。申し込み制。当日は絵本の楽しみ方の公演を楽しむ。絵本を読みながら、絵本の楽しみ方や読み方など大切なことに気づける人気の企画。	今年度は、たくさんの方がおすすめ絵本を紹介してくださり、いろんな絵本を知る機会となった。一方で、終了時間が遅くなってしまったことで、幼児さんの集中力が続かない場面もあった。
合 計	231	833	6	1	0	0	0	811	0	0	19		1670		
(3) 子育て家庭相談・援助活動	子どもの年齢	件数	受 理 及 び 相 談 経 路				件数	相 談 内 容				件数	つないだ機関等		件数
	乳児	10	児童館にて直接受理 児童相談所 保健所 子ども支援センター 主任児童委員 その他				27	健全育成問題 家庭養育問題 成長・発達問題 教育問題 非行・問題行動 その他				26	児童相談所 保健所 子ども支援センター 幼稚園・保育園 小学校 中学校 総合支援学校 その他		
	幼児	12													
	小1～3年 (自由来館)	3													
小1～3年 (学童)	1														
小4～6年 (自由来館)	1														
小4～6年 (学童)	1														
中学生	1														
高校生	1														
件数 計	27	-				27	-				27	-		0	

		グループ名	構成人数	活 動 内 容	育成・支援内容	成果と課題
	(4) 子育てグループを育成・支援する活動	安朱ティーカップサロン	12	安朱学区の自治会館で、地域の方が、乳幼児親子を対象としたサロンを実施されている。その取組の一部として年3回、移動児童館として実施。	簡単な工作や寝相アートなどを行う。	児童館の活動を知ってもらう機会になった。保護者の方からニーズや子育ての話などが聞くことができた。
		山階ホッとサロン	12	山階学区の主任児童委員と協力して、じゃがいも掘り体験とさつまいも掘り体験を実施。	企画内容の相談、広報・募集・受付・当日の企画運営のサポート・さつまいもの苗を発注と預かり、苗植えのお手伝いなど行う。	毎年、自然に触れる機会となっている。親子一緒に収穫体験できることを喜ばれている。収穫までの期間で、苗植え・草抜きなど大変な作業があるため日程などを確認してできる限りサポートをした。
推進活動	(5) 子育てと健全育成に関する啓発活動	活動名	実施回数	活 動 内 容	成 果 と 課 題	
		京都市家庭ごみ有料指定袋無料引換券の引き換え	随時	新生児向けのごみ袋の引き換えを児童館にて行う。	引き換え時に児童館を初めて知る機会になることもあり、利用につながっている。	
		子育て講座 絵本の楽しみ方	1	花田睦子氏を講師に迎え、乳幼児期の子育て家庭へ向けた取組。絵本の選び方や読み方、絵本を通して育つ力についてお話いただく。	絵本を通して子育てのかたちは決まっていないこと、大切にすることなどをわかりやすく伝えてくださる。参加者は共感することも多いようで昨年度の参加者が申し込まれることもある。2月に設定をしたため参加者が例年より少なかった。	
		プレパパママいらっしゃ〜い	随時	出産前に児童館を知ってもらうことを目的に、児童館で作成したマタニティマークの缶バッジを来館された際に希望された方にお渡しし、児童館の活動を紹介させてもらうと企画する。	今年度は地域の助産院にコンタクトを取る段階までとなった。次年度は活動につなげたい。	

※注 基本活動は、指針に基づき(1)乳幼児とその保護者を対象とする活動[①乳幼児クラブ活動 ②乳幼児の広場活動] (2) 家族参加を促す活動に分類して記入すること。

地域福祉	(1) 地域住民との交流を促進する活動	活動名	実施回数	主催	参加人数						連携団体	成果と課題		
					乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生			大人	合計
						自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ					
		山階ホッとサロン	2	山階学区民生児童委員協議会	39						46	85	山階学区民生児童委員協議会	収穫体験ができる取り組みが喜ばれている。畑の管理は大変なため、来年度も民生児童委員の方と相談・協力しながら実施していく。
		カブラであそぼう！	1	山階学区子育てネットワーク連絡会	11	17	11	6	4	2	30	81	山階自治連・山階学区社協・山科少年補導協議会山階支部・山階民生児童委員協議会・山階小学校・山科青少年活動センター・山科幼稚園	親子一緒に楽しめる取組。今年度は暑さ対策や定員の縮小制限もなく開催できた。中高生ボランティア「べる活動」の募集をおこない、中高生との交流の場もなった。
		さんかいじどうかんまつり	1	山階児童館	204	183		105		9	429	930	学童クラブ保護者会	子どもたちの様子や友だち関係などを保護者が知る機会となり、保護者同士の関係づくりにもなった。また、地域の方に児童館の活動を知っていただく機会となった。
		あそぼらんど	4	山階児童館	41						35	76	山科区社会福祉協議会、山科中央老人センター、山科デイサービスセンター、げんきスポット0-3	夏の乳幼児親子さんの居場所になった。最後の回は写真を撮って工作をする。協力していただいている団体が4回すべての参加が難しいとの声があり、来年度のやり方を考える必要がある。
		山階学区子育てネットワーク連絡会 会議	3	山階児童館							21	21	山階自治連・山階学区社協・山科少年補導協議会山階支部・山階民生児童委員協議会・山階小学校・山科青少年活動センター・山科幼稚園	山階学区の子育てについて情報共有できた。
		山階学区子育てネットワーク連絡会 研修	1	山階学区子育てネットワーク連絡会							4	4	山科警察署	「少年非行」をテーマに研修を行う。いまの現状などを知ることができた。
		敬老交流会	1	山階児童館 はーとふるセゾン				8			7	15	はーとふるセゾン	地域のデイサービスセンターの方たちとの交流により、子どもたちにとっても良い経験になった。

地 域 福 祉 促 進 機 能	基本活動 (4) 児童館を支える地域 組織作り	組織名称		構成団体・個人		会議／取組頻度		議題／取組内容		成果と課題	
		山階ホッとサロン		山階学区民生児童委員協議会		じゃがいも掘り、さつまいも掘り各1回		山階学区ホッとサロンの活動・取組の進め方について		民生児童委員さんと山階学区の子育ての情報共有の機会となった。	
		山階学区子育てネットワーク連絡会		山階自治連・山階学区社協・少年輔導協議会山階支部・山階民生児童委員協議会・山階小学校・山科青少年活動センター・山科幼稚園		会議：年3回 5月・9月・2月 研修：年1回 1月		子育て支援ステーション事業と山階学区の子育て支援状況の共有		地域で子どもを見守る組織作りとなった。また研修を通して、地域の見守り力向上を図る。	
		安朱ティーカップサロン		安朱学区民生児童委員協議会		年3回 5月・10月・2月		安朱学区のサロンの活動・取組の進め方について		民生児童委員さんと安朱学区の子育ての情報共有の機会となった。	
		ぐるっとふれ愛まちフェスタ会議		山階児童館・山科商店会・山科合同福祉センター・山科青少年活動センター・山科区社会福祉協議会・山科中央老人センター・山科デイサービスセンター・山階学区自治連合会・安朱学区自治連合会、山科幼稚園		会議：年5回／ぐるっとふれ愛まちフェスタin山科 年1回 11月		ぐるっとふれ愛まちフェスタin山科の進め方・振り返りについて		地域の方、施設と連携する機会となった。	
		あそぼらんど会議		山科区社会福祉協議会、山科中央老人センター、山科デイサービスセンター		会議：年2回 あそぼらんど：7月・8月		あそぼらんどの進め方・振り返りについて		夏休みの乳幼児親子さんの居場所づくりを協同して進めることができた。	
社 促 進	(5) 地域への施設提供	会場提供・備品貸出等		使用目的		提供先(団体・機関等)		成果と課題			
		児童館遊戯室		学童クラブ保護者が親子で楽しめる遊びを企画し、開催するため。		学童クラブ保護者会役員会		保護者と子どもの交流の機会になった。			
		コードリール		ぐるっとふれ愛まちフェスタin山科で、屋台を開催されるため。		山科青少年活動センター		ぐるっとふれ愛まちフェスタin山科と一緒に盛り上げることができた。			
機 能 推 進 活 動	(6) 地域調査活動	調査名	調査目的	調査対象	調査主体	調査方法	成果と課題				
		児童館利用者共通アンケート	児童館改善対策	幼児クラブ登録者/学童クラブ登録児童/学童クラブ登録児童の保護者/自由来館利用者児童/乳幼児のひろば参加保護者	京都市社会福祉協議会	幼児クラブ取組終了後配布し記入/小学生利用時一度集合させ、その場で記入/Googleフォームによる回答	・社協全館で、今年度初めてWebでのアンケートを実施。利用者から貴重な意見をいただくことができた。アンケート結果を今後の事業展開に活かしたい。				
		ムクムク公演会実施アンケート	参加者意識調査	参加者	山階児童館	その場で記入、回収	・行事の感想や今後実施してほしい行事について意見を聞くことができた。				
		子育て講演会「絵本の楽しみ方」実施アンケート	参加者意識調査	参加者	山階児童館	その場で記入、回収	・行事の感想や今後実施してほしい行事について意見を聞くことができた。				
		幼児クラブ年度末アンケート	1年間の振り返り、次年度への意識調査	幼児クラブ登録者	山階児童館	幼児クラブのおわかれ会の日に配布。記入の上、回収。	・幼児クラブの取組内容の感想や意見が開けた。次年度以降の乳幼児保護者向けの事業展開に活かしたい。				
		じどうかんまつりアンケート	参加者意識調査	学童クラブ登録児童/学童クラブ登録児童の保護者	山階児童館	Googleフォームによる回答	・参加した児童・保護者、スタッフとして活動した児童・保護者それぞれの感想や意見を聞くことができた。次年度以降の事業展開に活かしていきたい。				
		ヨガ教室 実施アンケート	参加者意識調査	参加者	山階児童館	その場で記入、回収	・行事の感想や今後実施してほしい行事について意見を聞くことができた。				
		親子リトミック 実施アンケート	参加者意識調査	参加者	山階児童館	その場で記入、回収	・行事の感想や今後実施してほしい行事について意見を聞くことができた。				

	広報物の種類	発行頻度	広報対象	広報方法	広報内容	成果と課題
広 報 活 動	じどうかんだより	毎月1回	山階・安朱小学校全校児童と校長・教頭・教務主任・各クラス担任・一般来館者・介助者・ボランティア	学校より児童へ配布 個人配布	毎月の行事予定・参加募集案内、前月の行事の報告等	小学生は親子でおたよりを見て、興味関心のある行事に申込・参加をしている。見やすく分かりやすい紙面づくりを心掛ける。 「乳幼児版」はピンクの用紙に印刷し、「小学生版」との区別しやすいようにしている。 児童館のHPにPDF形式で掲載している。
	町内会回覧用 じどうかんだより	毎月1回	山階学区・安朱学区内住民	自治連合会を通じて町内回覧	毎月の行事予定・参加募集案内、前月の行事の報告等	多くの地域住民に児童館について、児童館での取り組みや行事について知ってもらえる機会になっている。
	山階学区掲示板用ポスター	毎月1回	山階学区内住民	民協を通じて町内掲示板への掲示	毎月の行事予定・参加募集案内、前月の行事の報告等	民協の会議に合わせて発行するようにする。掲載内容を整理して、見やすく分かりやすい紙面づくりをする。
	ラクト地下通路掲示板	常時	地域住民	ラクト地下通路掲示板への事業案内掲示	毎月の各行事の案内・参加募集・子どもの作品 等	定期的に掲示物を貼り替えることで、掲示板を見て事業を知り、参加へとつながっている。児童館の取り組みや事業をアピールできる場として定着している。
	くまさんクラブだより (登録制幼児クラブおたより)	年11回	くまさんクラブ登録者	幼児クラブ受付にて配布	月々の行事予定、次回の取組内容、子どもの発達や子育てに関する情報等	次回の取組などの記載があるため、おたよりを見て日程や持ち物を確認できるものになっている。
	幼児クラブ冊子	年1回	幼児クラブ登録者	はじめの会にて個人配布	幼児クラブについての説明、年間スケジュール、グループ分け等	毎年はじめの会にて冊子を見ながら説明をしている。年間予定も載せているのでみなさん目を通してくださる。
	さんかいじどうかん利用案内 (児童館パンフレット)	年1回	一般利用者・安祥寺中学校 等	個人配布	児童館の利用案内 等	社協の統一様式で作成。
	ホームページ活用	随時	一般利用者 等	児童館ホームページにて	児童館の利用案内、行事予定 等	児童館の取り組みの紹介、じどうかんだよりなどを随時更新するようにした。
	山階小学校・安朱小学校への掲示	毎月1回	山階・安朱小学校全校児童	学校掲示板にて児童向けの事業案内掲示	毎月の行事予定・参加募集案内	掲載する内容を整理して見やすい構成になるようにした。
	山階児童館広場前掲示板	毎月1回	近隣住民	掲示板に掲示	児童館の活動の様子を紹介	掲示板前で立ち止まり、見てくださる方が増えた。児童館の活動の様子を住民の方に知ってもらえる機会になった。
	Instagram活用	週に1~2回	一般利用者等	Instagramにて	児童館の活動の様子や広報、家で楽しめる遊びや工作の紹介	日々の児童館の様子を伝えることができ、児童館利用の促進につながっている。しかし、今年度は更新を定期的におこなえなかった。